

広告

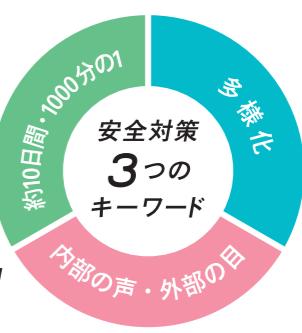
※安全を確認の上、防護メガネをはずして撮影しています。2024年7月現地取材

柏崎刈羽原子力発電所の今

Vol.3 内部の声・外部の目

Emily
Timely
Report

エミリー タイムリーリポート



私、中田エミリーが柏崎刈羽原子力発電所の安全対策や現場の状況について稻垣武之所長にお話を伺い、
現場をその目で確かめてきました。第3回のテーマは、「人」に関する対策の強化についてです。

風通しのよい職場環境づくりが、
安全の土台になっているんですね



中田エミリー
フリーアナウンサー（新潟県出身）

エミリー 地域に根ざしながら
発電所を運営しているという
ことですね。



IAEA(国際原子力機関)のレビュー

エミリー 柏崎刈羽原子力発電所の安全対策について3回にわたってお届けしました。
次回の広告では日本のエネルギー事情について稻垣所長と
対談いたします。



柏崎刈羽原子力発電所では引き続き安全性向上に努めてまいります。

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社 新潟県新潟市中央区新光町11番地7 025-283-7461 9:00-17:00(土・祝日・年末年始除く)

これまで行ってきた取り組みについては
YouTubeでもご説明しております。



H511×W378mm

社外から評価や助言をいただいています

エミリー これまで「多様化」と「約10日間・1000分の1」について伺つてきましたが、3つのキーワードは何でしょうか？
稻垣 「内部の声・外部の目」です。

エミリー 「声」と「目」、それぞれ何を意味するのでしょうか？
稻垣 これまで設備など、ハーフ面の安全対策について説明してきましたが、発電所で働く「人」についても重要なだと考えています。まず、「内部の声」ですが、これは、発電所内におけるコミュニケーションの強化のことです。

稻垣 当発電所では、22年4月から「あいさつ運動」を始めました。今では協力企業の皆さんも加わる大きな運動になり、コミュニケーションですか？

稻垣 ありがとうございます。他にも、協力企業の皆さんと一緒に挨拶をさせていたのがとても印象的でした。

エミリー 風通しのよい職場環境づくりが、安全の土台になっているんですね。

稻垣 その通りです。協力企業の皆さんも含め、当発電所で働く人の約8割が新潟県においています。雇用創出や地域活性化にも貢献しながら発電所を運営しています。また、22年5月には、本社原子力部門の一部を柏崎市に移転しました。約60名配置し、本社に所属する社員が足しげく発電所の現場を訪れることがコミュニケーションが活発になっています。

稻垣 はい。次に、「外部の目」についてです。発電所内の連携を強化する一方で、私たちの独りよがりにならないよう、地域の皆さんからいろいろな意見はもとより、社外のさまざまな組織・団体・専門家の方々から評価や助言をいただいていることがあります。

エミリー どのように組織や団体が関わっているのですか？
稻垣 「原子力改革監視委員会」や「改善措置評価委員会」、「核セキュリティ専門家評価委員会」といった専門家からなる社外委員会から定期的に確認・評価をいただいているます。また、核物質防護の取り組みについては、国際的な知見を見つめ、IAEA(国際原子力機関)のレビューを受けて、助言をいただいたところです。

エミリー 外部の目による気づきを取り入れているのですね。見たまま改善に取り組んでいます。

稻垣 はい。よりよい発電所となるよう社外の皆さまのご意見を踏まえた改善に取り組んでいます。

エミリー 外部の目の気つきを取り入れた改善に取り組んでいます。



あいさつ運動



現場での検討会



稻垣武之
東京電力ホールディングス
常務執行役 柏崎刈羽原子力発電所長